

平成 25 年 1 月 15 日

第 15 回玄海町立小中学校基本構想等検討委員会

1. 開 会

2. 協 議

I. 町民説明会について

II. 玄海町立小中学校建設工事に関する進捗状況

P

①有浦中学校体育館・プール解体工事

②実施設計の進捗状況

③再協議事項

III. 教育ビジョンの提案・協議

P

①二学期制

②制服

③かばん

④上履き

⑤掃除と掃除道具

3. 次回日程の確認

平成 25 年 2 月 日 () 18 時 30 分～

4. 閉 会

Ⅱ. 玄海町立小中学校建設工事に関する進捗状況

①有浦中学校体育館・プール 解体工事

工期：平成24年12月19日～平成25年3月22日

※実質的な解体は、1月25日から（予定）

体育館の代替：15日から体育は社会体育館を、式典は文化ホールを利用。

②実施設計の進捗状況

設計内容：別紙のとおり

建築確認申請：建物を建築するために、その計画の内容が建築基準法や関連法令に適合しているかどうか、確認を受け、確認済証を受領する必要がある。

現在の設計内容を1月25日前後に提出予定。

③再協議事項

教育委員会において、部室の設置及びトイレの設備について再検討を指摘

(ア)部室の要否

【意見】

- (a) 部活動の荷物の保管場所がない。
- (b) 部室でチームとしての一体感を醸成し、意識向上を図ることができる。
- (c) 仲間の集いの場所になる。

【事務局の考え方】

(a)の回答

- ・教室の一人分のロッカーは現状よりも広い。荷物を入れることも可能。
また、ロッカー上に置くことも可能。

(b)の回答

- ・練習など活動の中で、個々の能力向上を目指すと共にお互いが協力しあいながら一体感も醸成することが必要。
- ・現有浦中も部室は無く、部室が無い環境でも部活動は行われている。

(c)の回答

- ・話し合いなど集まる場所は校舎内教室や多目的スペースを活用できる。
- ・更衣を伴うため、密閉する。また、死角にもなる。本校舎のコンセプトは見える化。

(イ)トイレの設備

【意見】

- (a) どの公共施設にも小便器があり、それがスタンダードな形ではないか。スタンダードを変えるためには強い理由が必要。
- (b) 小便器は待ち時間が推測できる。

【事務局の考え方】

(a)の回答

- ・ 本学校のコンセプトは「学校は家の延長」
- ・ 公共機関のように不特定多数の方が利用するものとして、社会的なスタンダードを適用するのではなく、家の延長として使用できる環境を提供する。
- ・ 男性の 90.6%は洋式便器を使って小用している(TOTO「自宅のトイレに関するアンケート」より 2009年5月)

(b)の回答

- ・ 女性用便所も同様のことが言える。
- ・ 設置台数は、80%の人が許容し得る最大待ち時間(待ち時間が一番短いレベル)を考慮。(空気調和・衛生工学会「衛生器具の適正個数算定」より)

その他の理由

- ・ 小便器は、尿石付着によるニオイや小便器周辺の床にこぼれた尿によるニオイが発生する。
- ・ 衛生面や清掃面から乾式(水を流さずモップ等で汚れを拭き取る方法)を採用する。和式便所や小便器では、粗相するケースがあるが、水流しができない。

Ⅲ. 教育ビジョンの提案・協議

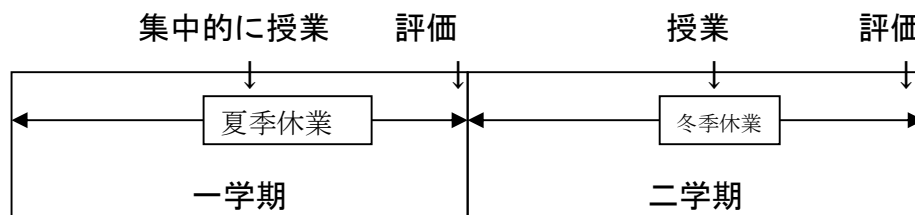
1. 二学期制

①メリットとデメリット

メリット	デメリット
(ア) 始業式、終業式や中間・定期試験の回数減少によって生じる時間的なゆとりにより、授業時間数の確保ができ、きめ細かな指導や学習評価の充実が可能。 (イ) 各学期の期間が長くなり、総合的な学習の時間や体験学習・活動など継続的に取り組める。	(ア) 中間・定期試験や通知表などの回数が減り、保護者が不安を感じる (イ) 学期途中で長期休業日が入るため児童生徒に学習の連続性を意識させることが必要。 (ウ) 年間指導計画など、学校の教育活動全体の調整や見直しが必要。

②事務局が考える二学期制のメリット

現在の夏季休業等を利用して、美術・音楽・技術・家庭等の芸術・技術教科を集中的に実施する。これら教科の評価は、学期末に評価を行う。



なお、新学習指導要領では

- (ア) 年間35週以上にわたり教科等の指導を行うこと
(イ) 週当たりの授業時数が児童の負担過重にならないようにすること
(ウ) ただし、各教科等や学習活動の特質に応じ効果的な場合には、夏季、冬季、学年末等の休業日の期間に授業日を設定する場合を含め、これらの授業を特定の期間に行うことができる。

と示されている。

2. 制服

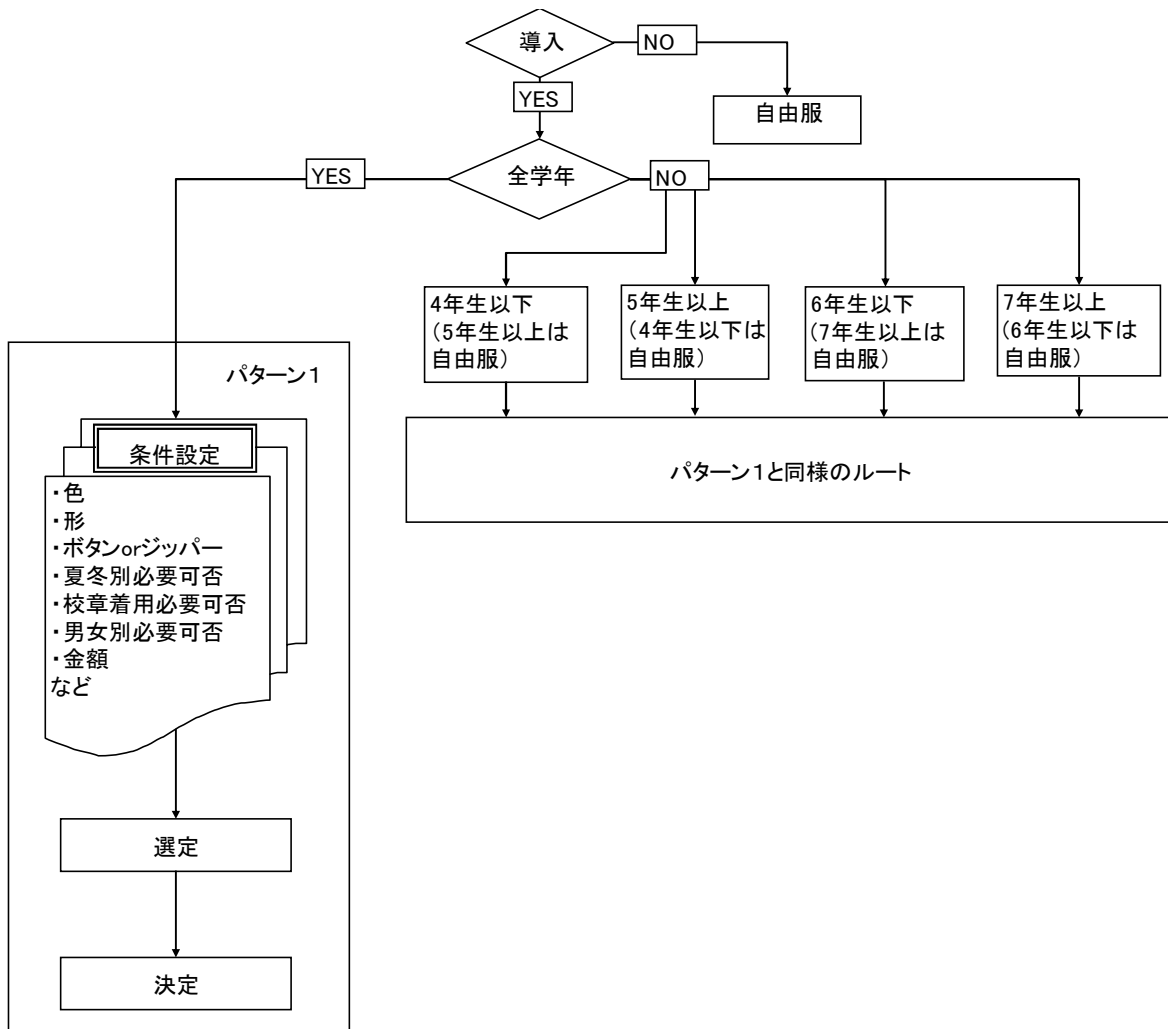
①検討方法の提案

- ・メリット、デメリットを整理し、検討項目(案)を確認したうえで、協議を進める。

②メリットとデメリット

メリット	デメリット
(ア)統一感・連帯感がある (イ)登校前に服を選ぶ手間が不要 (ウ)規律を守る意識を育む (エ)生徒指導が容易	(ア)購入時の値段が高い (イ)服装の自由度が無い

③検討項目(案)



3. かばん

①定義：通学に使用する鞆

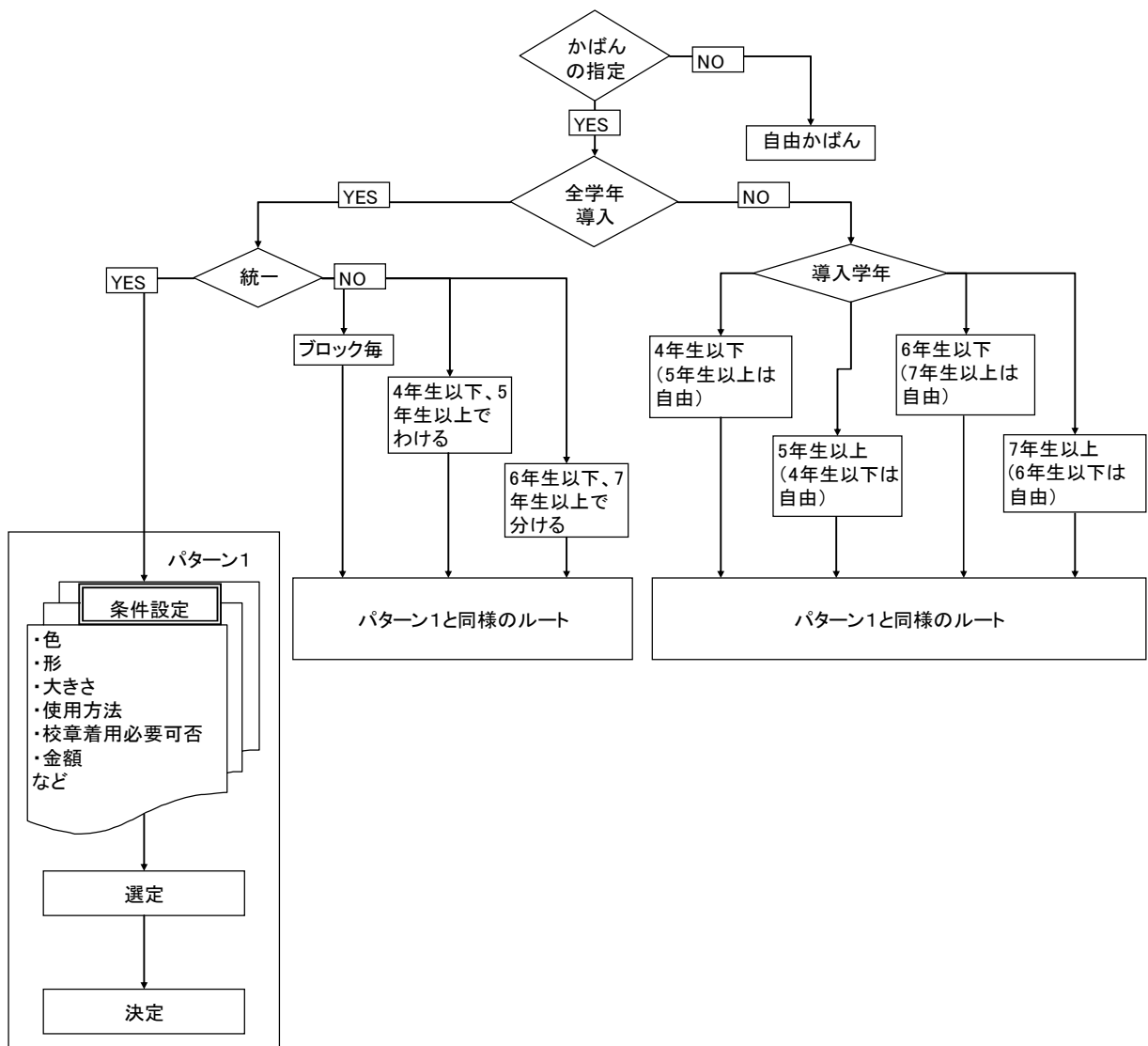
②現状：

小学校	中学校
ランドセル	スリーウェイバック

③メリットとデメリット

	ランドセル	バック
メリット	・肩と背中で背負うので、重くても持ち運びしやすい	・学習道具の量に合わせて使い勝手が多様 ・背負えなくなれば、肩掛けができる
デメリット	・高価 ・体が大きい子どもには窮屈	・形が崩れやすく、荷物が偏り、不安定になりやすい

④検討項目（案）

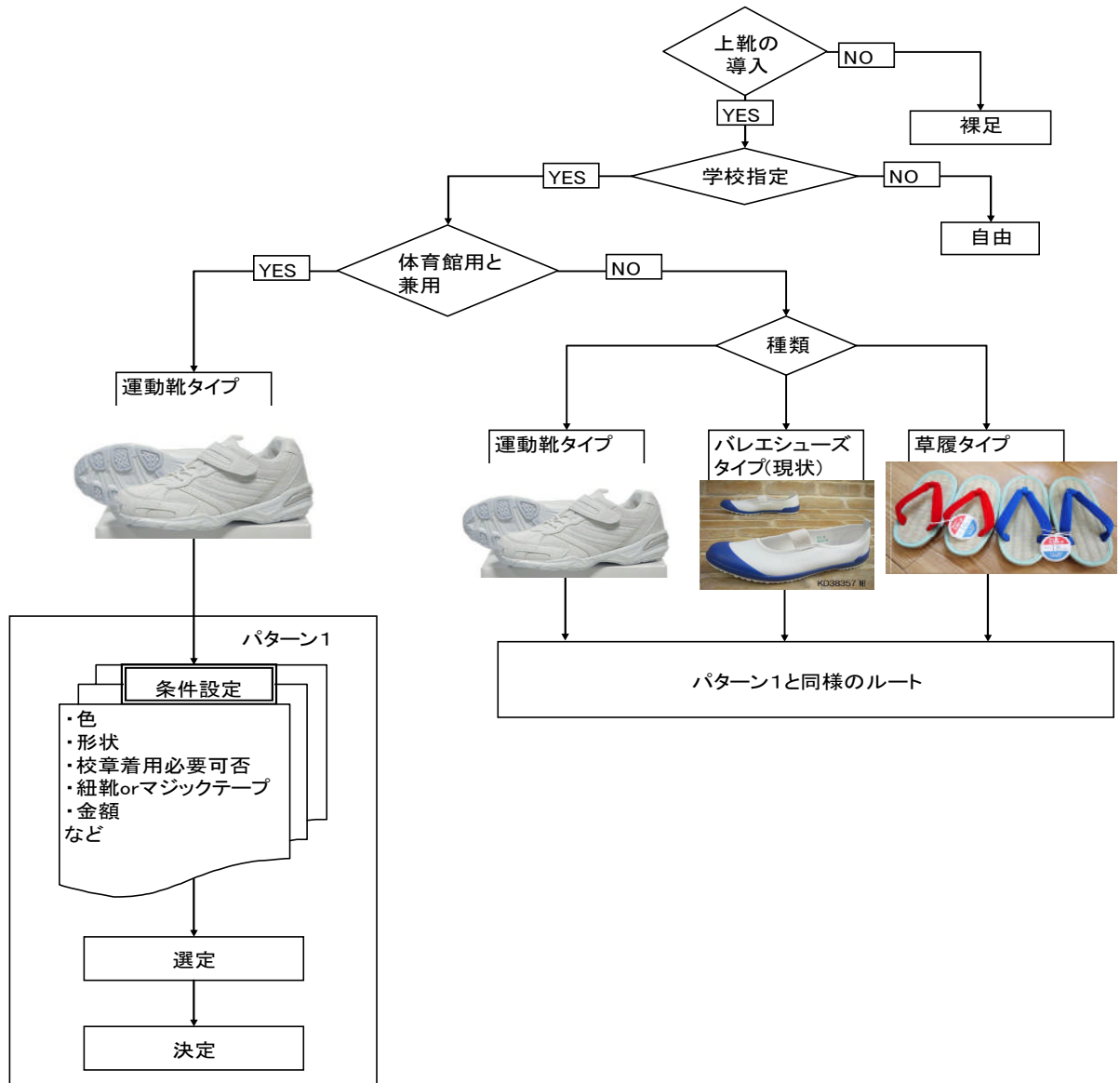


4. 上靴

- ①定義：校舎内で履く靴
- ②現状：全学校、同様の上靴を採用
- ③現上靴のメリットとデメリット

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> ・統一され、生徒指導等もしやすい ・砂や石を持ち込まないので、校舎を汚しにくい ・サイズが大きくなっても買い替えやすい ・避難等の際、そのまま屋外に出ても安全 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかとを踏みやすい

④検討項目（案）



5. 掃除と掃除道具

①小学校学習指導要領上の清掃とは

特別活動の学級活動内容として「清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」と定義

また、「自らよりよい学級生活の実現に取り組む意欲をはぐくむとともに、集団の一員としての自覚や責任感を高め、勤労を重視する観点から係活動とともに、日常の清掃などの当番活動も計画的に指導」することが求められている。

②小中一貫校のコンセプトと掃除の考え方

本学校は、「家の延長」として、家庭生活に近い環境を目指す。

③掃除の頻度と掃除道具の提案

回数：週に1回～2回

道具：教室・トイレなどの掃除はモップを基本。濡れたり、汚れた場合は、雑巾等で拭く。

④協議点

(ア)掃除の頻度

(イ)掃除の方法